

安心できる地域医療への貢献

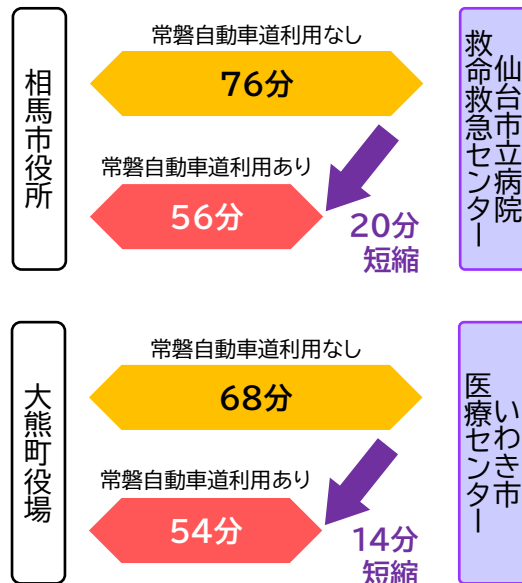
- 相馬市から仙台市内の三次医療施設までの所要時間が**20分短縮**し、大熊町からいわき市内の三次医療施設までの所要時間が**14分短縮**。
- 三次医療施設の**医療圏人口は約6万人増加**し、ネットワークの拡大に伴い傷病者への負担軽減に貢献。

沿線の三次医療施設の時間圏域の変化

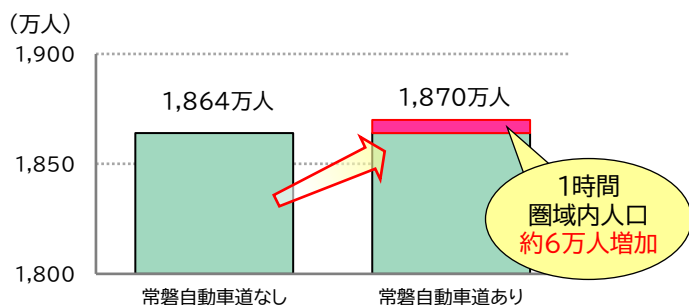


【資料】全国総合交通分析システム(NITAS)ver. 3.0

救急搬送時の所要時間

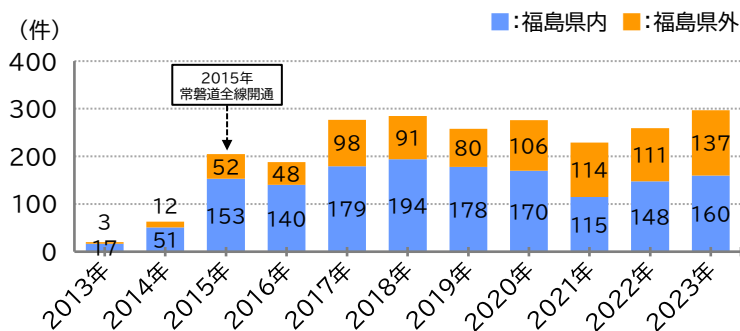


三次医療施設の医療圏カバー人口の変化



【資料】全国総合交通分析システム(NITAS)ver. 3.0、国勢調査

相馬地方広域消防本部における 常磐自動車道を利用した救急搬送の推移



【資料】相馬地方広域消防本部ヒアリング結果

※相馬地方広域消防本部の管轄:南相馬市・相馬市・飯館村・新地町
※2020年~2022年:新型コロナウイルス感染症対策期間(緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置)が含まれる。



沿線自治体の声
ヒアリング結果
(2024年9月)

常磐道の全線開通により、仙台市やいわき市等、遠方の医療施設への搬送時間が短縮されています。道路線形が良く平面性に優れた高速道路を利用することで、救急搬送時における傷病者への負担軽減に寄与しています。

全線開通前は国道6号等一般道を利用していましたが、全線開通後は常磐道を利用することで、**時間短縮**と**走行性の向上**につながっています。



消防本部の声
ヒアリング結果
(2024年7月)